

4 文化・科学技術・スポーツ

関連予算の執行額

(単位：千円)

会計 区分	予算科目			予算執行額
	款	項	目	
一般	02 総務費	02 企画費	02 計画調査費	328,997
一般	07 商工費	02 工鉱業費	01 工鉱業総務費	10,476
一般	07 商工費	02 工鉱業費	02 中小企業振興費	277,465
一般	07 商工費	02 工鉱業費	05 工業技術センター費	246,675
一般	07 商工費	03 観光費	01 観光費	897,756
一般	08 土木費	02 道路橋りょう費	04 交通安全対策費	2,110,989
一般	08 土木費	04 港湾費	02 港湾建設費	2,632,206
一般	08 土木費	05 都市計画費	03 公園費	1,362,099
一般	10 教育費	06 社会教育費	03 文化及び文化財費	1,641,973
一般	10 教育費	06 社会教育費	04 文化の森総合公園文化施設費	817,040
一般	10 教育費	06 社会教育費	06 郷土文化会館運営費	156,410
一般	10 教育費	06 社会教育費	07 子ども科学館費	364,366
一般	10 教育費	06 社会教育費	08 文学書道館運営費	197,688
一般	10 教育費	07 保健体育費	02 体育振興費	1,009,037

1 文化の振興

1 芸術文化活動の充実（文化国際課，生涯学習政策課）

1(1) 文化・芸術活動の創造・発表・鑑賞機会の充実

ア 芸術文化鑑賞機会の充実

とくしまきり芸術文化事業や文化庁事業の実施，クラシックコンサートの開催等により，県民が優れた芸術文化に触れる機会の充実を図った。

こども芸術鑑賞教室 10 公演

本物の舞台芸術体験事業 17 公演

クラシック音楽演奏会 1 公演

イ 徳島県民文化祭事業

国民文化祭開催のため一部を除き休止していたが、県民創作舞台として新作人形浄瑠璃の制作を行った。

ウ 地域の文化振興事業の推進

県内の芸術文化団体等から広く企画を募り、市町村との連携により県内7会場においてワークショップや公演を行った。

エ 顕彰制度の充実

県文化賞の贈呈 受賞者 杵屋佐篠氏

阿波文化創造賞の贈呈 受賞者 住友紀人氏

1(2) 文化施設の整備充実

ア 郷土文化会館の充実

耐震補強やホールのリニューアル等の改修工事を終え、平成19年4月にリニューアルオープンした。

郷土文化会館利用者数 371,303人

イ 文学書道館の充実

文学及び書道の特別展や教育普及事業等を実施するとともに、展示室や講座室等を県民の利用に供した。また、文学書道資料の調査研究、収集・整理に取り組んだ。

文学書道館利用者数 67,461人

ウ 阿波十郎兵衛屋敷の充実

阿波人形浄瑠璃振興の中核施設として、定期上演等を行うとともに、展示室や母屋等を県民の利用に供した。

阿波十郎兵衛屋敷利用者数 35,231人

1(3) 文化情報の提供手段の充実

ア 文化情報ネットワークの推進

文化の森各館所蔵資料データベースの充実、データベースの利用普及、各種文化情報の提供等を行った。

データベースの入力状況(平成20年3月末日現在)

データベースの種類	入力件数(件)
書誌データベース	1,262,687
博物館データベース	261,043
美術館データベース	51,640
文書館データベース	87,453
AVライブラリーデータベース	2,407
計	1,665,230

2 徳島の文化の担い手づくりの推進（文化国際課）

2(1) 文化団体の育成，指導者の養成

（財）徳島県文化協会へ助成した。

2(2) 文化の担い手の養成

演奏会の出演者等に講師を依頼し実技指導の場を設けるなど，文化の担い手の養成を図った。

3 文化を育む環境づくりの推進（文化国際課）

3(1) 創造環境の充実整備

ア （財）徳島県文化振興財団の機能充実

県民の幅広い文化活動を支援し，新しい県民文化の創造と発展に寄与するため，財団法人徳島県文化振興財団の充実を図った。平成19年度事業として，自主事業2件，共催事業2件，補助事業13件を行った。

イ 「あわ文化」の創造と発信

本県の豊かな文化資源を活用した新たな「あわ文化」の創造と発信を図るため，阿波人形浄瑠璃や阿波踊り，民俗芸能の県外公演を行うとともに，晩年を徳島で暮らしたポルトガルの文人・モラエスを主人公とした新作浄瑠璃「モラエス恋遍路」の公演を2市町村で実施した。

また，中四文化のつどい，鳥取第九交流事業等に県内の文化芸術団体を派遣した。

4 文化交流の推進（国民文化祭課）

4(1) 国民文化祭開催事業

ア 第22回国民文化祭・とくしま2007の開催

徳島の誇る伝統芸能・文化である「阿波藍」，「阿波踊り」，「阿波人形浄瑠璃」，そして本県がアジア初演の地であるベートーベンの「第九」を4大モチーフとし，平成19年10月27日から11月4日までの9日間，本県で「第22回国民文化祭・とくしま（おどる国文祭）」を開催した。

主催事業 89事業 出演者総数 2,871団体・30,524人

来場者数 769,687人

5 学校における文化・芸術活動の推進（学校政策課）

5(1) 学校における文化活動の振興

ア 県高等学校文化連盟へ活動費補助金の交付，県美術展へ県教育長賞の授与

5(2) 全国高等学校総合文化祭派遣事業

ア 第31回全国高等学校総合文化祭（島根大会）への派遣

7月29日から8月2日までの7日間，開催地島根県へ16部門20校生徒230名を派遣した。

5(3) 近畿高等学校総合文化祭派遣事業

ア 第 27 回近畿高等学校総合文化祭への派遣
開催地大阪府へ 17 部門 28 校生徒 367 名を派遣した。

5(4) 近畿高等学校総合文化祭準備事業

ア 平成 20 年 1 1 月に徳島県で開催される第 28 回近畿高等学校総合文化祭に向けて、準備実行委員会を設け、大会テーマ、ポスター原画の募集、大阪大会の調査等、準備を進めた。

6 文化の森総合公園の整備・充実（生涯学習政策課）

6(1) 積極的な資料収集と魅力ある常設展示や企画展の開催などを通じた普及・文化活動の充実

各文化施設の維持管理、運営に努めるとともに、美術品等の取得を行い資料の充実を図った。また、各館において、様々な企画事業を開催するとともに、各種普及事業を実施し、県民文化の振興に努めた。

文化の森総合公園入館者数

施設 年度	図書館	博物館	近代 美術館	文書館	21 世紀館	合 計
平成 19 年度	人 564,130	人 170,438	人 129,909	人 24,215	人 137,607	人 878,639

（注）「合計」は、共催等による重複調整を行っているため、各館の合計とは一致しない。

6(2) 県立近代美術館サテライト・ギャラリー事業

近代美術館が開館 15 周年を迎えたことをきっかけに、既存の「県庁ギャラリー」に加え、今年度は県立三病院、西部総合県民局（美馬庁舎）及びフレアとくしまにサテライト・ギャラリーを設け、県民の憩い・癒しの場を形成することで地域活性化に努めた。

2 歴史・文化の継承と活用

1 文化財調査の促進（文化財課）

1(1) 徳島県中世城館跡総合調査事業

県内に所在する中世城館跡について、遺構・文献等の基礎的調査を行った。

1(2) 埋蔵文化財の所在調査

ア 発掘調査

徳島南環状道路関連事業等に伴う埋蔵文化財の発掘調査など 15 遺跡（（財）徳島県埋蔵文化財センターへ業務委託）

イ 出土品整理

徳島南環状道路関連事業等に伴う埋蔵文化財出土資料整理など 11 遺跡（（財）徳島県埋蔵文化財センターへ業務委託）

1(3) 天然記念物の調査

カモシカ通常調査 県内 8 市町（旧 12 町村域）における，生息環境，生息状況及び食害調査等の実施

2 文化財の保護管理（文化財課）

2(1) 文化財の指定

ア 徳島県文化財保護審議会の運営

イ 文化財の指定及び登録

種別	名称	員数	所在地	所有者又は所持者及び管理者	指定又は登録年月日
有形文化財 (絵画)	鳴門十二勝真景図巻	一巻	徳島市徳島町城内 1 - 8	徳島市・徳島市立徳島 城博物館	平成 20.2.1 (指定)
	蜂須賀正勝画像	一幅	同上	同上	平成 20.3.28 (指定)
有形文化財 (考古資料)	蓮華谷古墳群（ ） 二号墳出土品	一括	板野郡板野町犬伏 字平山 8 6 番 2	徳島県・徳島県立埋蔵 文化財総合センター	平成 20.2.1 (指定)
	カネガ谷遺跡出土品	90 点	同上	同上	平成 20.3.28 (指定)
有形文化財 (歴史資料)	板東俘虜収容所関係 資料	298 点	鳴門市大麻町桧字 東山田 5 5 - 2	鳴門市・鳴門市ドイツ 館	同上

2(2) 指定文化財管理

ア 文化財パトロール事業の実施

文化財巡視員（非常勤特別職）による指定文化財及び埋蔵文化財包蔵地の点検を行った。

イ 指定文化財の小修理，環境整備事業の実施

ウ 指定文化財の防災設備等の保守点検の実施

3 文化財の保存整備活用（文化財課）

3(1) 文化財の保存整備活用

ア 重要文化財等の保存修理

(7) 国選定「美馬市脇町南町」重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業の実施

(1) 県指定「熊谷寺大師堂」保存修理事業の実施

(9) 国選定「三好市東祖谷山村落合」重要伝統的建造物群保存地区保存対策事業の実施

イ 史跡の整備活用

(ア) 国指定史跡「阿波国分尼寺跡」保存整備事業の実施

(イ) 国指定史跡「段の塚穴」土地購入事業の実施

(ウ) 国指定史跡「郡里廃寺跡」土地購入事業の実施

(エ) 国指定史跡「郡里廃寺跡」保存整備事業の実施

(オ) 室町ロマン守護町勝瑞総合支援事業の実施

- ・ 守護町勝瑞遺跡発掘調査支援事業の実施
- ・ 勝瑞城館跡史跡整備事業の実施
- ・ 守護町検証会議の開催
- ・ 勝瑞学アカデミーの開催

平成 19 年 7 月 22 日 藍住町コミュニティセンター 参加者 129 名

平成 19 年 9 月 17 日 藍住町コミュニティセンター 参加者 103 名

平成 19 年 10 月 27 日 藍住町 勝瑞城館跡 参加者 86 名

(カ) 国指定史跡「徳島藩主蜂須賀家墓所」公有地化支援事業の実施

(キ) 国指定史跡「徳島藩主蜂須賀家墓所」整備事業の実施

ウ 無形文化財の保存伝承

(ア) 民俗文化財地域伝承活動の実施

阿波人形じょうりり伝承教室を開催し、普及・啓発活動による人形浄瑠璃愛好者層の拡大を図った。また、国指定重要無形民俗文化財阿波人形浄瑠璃の三構成要素である大夫・人形遣い・三味線の三部門について、技法や情緒を習得させ、民俗文化財の保存意識の高揚と伝承者の養成を図った。

(イ) 第 49 回中国・四国ブロック民俗芸能大会出演者派遣事業

期 日 平成 19 年 12 月 2 日

場 所 高知県高知市 高知県民文化ホール

出演団体 中国・四国ブロックの 8 県からは各 1 団体、高知県からは 2 団体の計 10 団体が出演した。

本県出演団体 三好市 有瀬かぐら踊り保存会

(ウ) 徳島県無形文化財保持者の育成

無形文化財保持者のうち、次の者に対し技能の錬磨及び公開並びに後継者の育成を図るため助成を行った。

氏 名	保存技術の内容	指定年月日
藤森 実	手漉和紙製造の技法	昭 45.6.2
竹内晃子	阿波藍による灰汁自然発酵建による藍染	昭 57.3.23
杉山俊雄	刀剣製作	平 12.3.21

3(2) 文化財情報の発信

ア 文化財 PR 資料の作成

(ア) 「2007 発掘とくしま」パンフレットの刊行

(イ) 文化財保護強調ポスターの印刷，配付

イ 展示会開催等

(ア) 「2007 発掘とくしま」の開催

平成 19 年 7 月 21 日～9 月 3 日（徳島県立埋蔵文化財総合センター）

(イ) 古代体験会の実施

平成 19 年 8 月 19 日，8 月 26 日（徳島県立埋蔵文化財総合センター）

(ウ) 展示解説・調査成果報告会の実施

平成 19 年 7 月 29 日（徳島県立埋蔵文化財総合センター）

(エ) 講演会の実施

平成 19 年 8 月 5 日（徳島県立埋蔵文化財総合センター）

(オ) 遺跡見学会の開催

名東遺跡：平成 19 年 8 月 22 日

4 文化財の愛護思想の高揚（文化財課）

4(1) 文化財の人材育成

ア 養成講座・研修会等の実施

(ア) 文化財指導者講習会の開催

平成 20 年 2 月 1 日，文化財関係者 132 名の参加を得て実施

(イ) 市町村埋蔵文化財担当専門職員研修会の開催

平成 19 年 6 月 22 日，平成 19 年 9 月 26 日開催

(ウ) アワコウコ楽サポーター養成講座の実施

平成 19 年 6 月 23 日，7 月 8 日，8 月 4 日，9 月 1 日，11 月 17 日の 5 回実施

(エ) アワコウコ楽スクールリーダー養成講座の実施

平成 19 年 7 月 24 日，8 月 8 日，8 月 22 日，9 月 30 日，10 月 17 日，11 月 28 日の 6 回実施

(オ) 文化財マイスター養成講座の実施（県内建築士対象）

平成 19 年 10 月 20 日～平成 20 年 3 月 15 日に 15 回実施 18 名が修了

4(2) 郷土文化教育の推進

ア 郷土文化教育の教材の整備

(ア) 郷土文化教育教材整備事業の実施

「ゲンちゃんと学ぼう徳島の歴史舞台」の作成

イ 埋蔵文化財を活用した学校教育の支援

校外行事等による徳島県立埋蔵文化財総合センターの活用について積極的な支援を行った。

5 歴史・文化の情報収集（生涯学習政策課）

5(1) 本県の歴史・文化に関する情報，資料の収集

県立文書館において，歴史的文化的価値を有する資料の積極的な収集を行った。

3 科学技術の振興

1 科学技術を担う人づくり（新産業戦略課，にぎわいづくり課）

1(1) 表彰制度等を通じた人材の育成・確保

本県の科学技術を支える優れた人材の育成・確保を図るため，国の表彰制度を活用し，技術者等の科学技術振興に対する意識の高揚と意欲の増進を図った。

1(2) あすたむらんど（子ども科学館）の管理運営

未来を担う子ども達が，遊びや体験を通じて科学する心や姿勢を培い，豊かな心を育てるあすたむらんど（子ども科学館）の適正な管理運営を行うとともに，企画展など様々な事業を実施し，創造性豊かな青少年の育成に貢献した。

2 研究開発基盤の充実（産業振興課）

2(1) 技術シーズ開花事業

県内企業の新製品，新技術の開発促進を図るため，提案公募型研究開発事業実施のために必要なデータ収集等のための予備的研究3件を地域の産学官が連携し実施した。（8,999千円）

4 スポーツ・レクリエーションの振興

1 生涯スポーツ活動の推進（県民スポーツ課）

1(1) 広域スポーツセンター事業

市町村等が行う総合型地域スポーツクラブの設立・運営を支援し，本県における生涯スポーツの振興を図るため，各クラブの中心となる人材育成や普及・啓発活動を実施した。平成19年度までに21クラブが設立され，4クラブが育成中である。

ア 有資格者等の派遣

市町村やクラブの事業にトレーナーや種目指導者等の派遣を行った。

イ 研修会・講習会の開催

事業名	会場	回数	人数
クラブマネジャー養成講習会	総合福祉センター他	6回	70名
総合型地域スポーツクラブ連絡協議会	徳島市立体育館会議室他	2回	50名

ウ 広報・啓発活動

啓発イベント2回実施。啓発パンフレットの発刊5,000部。

1(2) スポーツ夢タウンづくり支援事業

地域に密着したスポーツ振興を展開するため、地域における拠点づくり支援事業として、社会貢献活動団体（NPO法人）や総合型地域スポーツクラブより提案された事業に対し助成を行った。

団体名	期 日	会 場	事業内容	参加人数
特定非営利活動法人あいずみスポーツクラブ 他 12 事業	5月～3月	藍住町 他	ヘルスチェックと栄養指導やウォーキング会の開催 他	13 事業 延べ 10,809 名

1(3) とくしまスポーツSHOWデー事業

スポーツを「する」「見る」「支える」といった新たなスポーツ振興の仕組みを創るため、県民スポンサー事業として、企業及び団体からの協賛金により、スポーツイベントや地域密着型プロスポーツの応援企画への助成、情報発信などを行った。

平成 19 年 8 月 31 日 とくしまスポーツSHOWデー実行委員会設立

事業名	期 日	内 容	参加人数等
とくとくスポーツイベント助成事業	9月～3月	9 件のスポーツイベントに助成を行った。	延べ 3,405 名
地域密着型プロスポーツ応援企画助成事業	9月～3月	1 件の応援企画に助成を行った。	1,702 名
スポーツステーションサイトの構築	12月～	「とくしまスポーツSHOWデー・ステーションサイト」を開設した。	アクセス数 約 87,400

2 指導者の養成と活用（県民スポーツ課）

2(1) こどもの夢はぐくみ事業

子ども達のスポーツへの関心を高め、将来へのスポーツ振興につなげる動機づけとするため、子どもやその保護者を対象とした有名スポーツ選手等によるスポーツ講習会を実施した。

講習会名	期 日	会 場	人 数	内 容
親子サッカー交流教室	11月17日	板野町	62 名	徳島ヴォルティス選手等による親子を対象としたサッカー指導
プロ野球選手によるベースボール塾	12月28日	鳴門市	198 名	里崎智也選手ら 6 名の現役プロ野球選手等による野球講習会
“なるほど”ミニバスケットボールセミナー	2月3日	勝浦町	80 名	県外大学バスケットボール部コーチ（小牟礼育夫氏）による実践的・総合的な指導

2(2) 多様なスポーツニーズに対応した指導者の養成及び派遣

ア スポーツ少年団リーダーの育成

事業名	期日	会場	人数	内容
第34回日独スポーツ少年団同時交流	H19.7.20 ~ 8.11	ドイツ	3名	スポーツによる国際交流，リーダー派遣・受け入れ
	H19.7.29 ~ 8.2	県内	11名	

イ 市町村生涯スポーツ推進担当者の養成

事業名	期日	会場	人員	内容
スポーツ指導者	H19.6.11~12	徳島市	32名	水泳（講義・実技）
	H19.8.20~21	徳島市	60名	ダンス（実技）

ウ 派遣社会教育主事（スポーツ担当）の配置

2名を勝浦町，美波町に派遣し，地域スポーツの振興に努めた。

3 施設・設備の整備拡充（道路保全課，都市計画課，港湾空港課）

3(1) 大規模自転車道等の整備促進

自転車交通の安全を確保し，あわせて心身の発達に資する場として，阿南・徳島間の大規模自転車道の整備を進めた。

事業名	全体計画 (S58～H19年度)		18年度まで		19年度		19年度までの 累計		進捗率 (事業費)
	事業量	事業費	事業量	事業費	事業量	事業費	事業量	事業費	
阿南徳島 自転車道	km 28.4	千円 3,160,000	km 17.6	千円 2,623,055	km 0	千円 0	km 17.6	千円 2,623,055	% 83.0

(注) 全体延長は 41.2km

3(2) 公園整備事業費

ア 南部健康運動公園

平成 19 年 5 月の野球場（アグリあなんスタジアム）の供用に引き続き，管理棟の建築及び多目的広場の整備を行った。

イ 鳴門総合運動公園（鳴門・大塚スポーツパーク）

野球場（オロナミンC球場）と武道館（ソイジョイ武道館）の耐震改修を実施した。

3(3) 橋港公共用地レクリエーション施設用地の整備

ア 県単独港湾整備事業

公共用地の土地造成の進捗を図った。

4 競技力の向上（県民スポーツ課，体育健康課）

4(1) 競技力向上対策事業

本県の競技力の維持向上に努めるとともに、広く県民にスポーツに対する関心を定着させ、将来にわたって本県スポーツの充実発展を期するため次の事業を実施した。

ア 選手強化対策事業

練習会や遠征・合宿等の経費を過去の実績に基づいて助成する「強化対策推進事業」とプレゼンテーション審査を経て競技特性に応じた強化事業を行う「特別強化事業」を実施した。

イ 競技力向上スポーツ指定校事業

優秀選手の集中を進め、指導者の適正配置を行うとともに、遠征・合宿等の強化活動費を助成することにより、インターハイや国体等の全国大会での活躍が期待できる高校運動部を指定した。

ウ スポーツ医科学推進事業

国体選手にメディカルチェックを行ったり、チームにトレーナーや栄養士の指導スタッフを派遣して栄養面・フィジカル面の改善指導や、競技会に帯同してのコンディショニング管理を行った。

5 学校スポーツ活動の活性化（体育健康課）

5(1) 学校スポーツ活動活性化推進事業

ア 外部指導者の活用

中・高等学校の運動部活動の活性化を図るため、50人の外部指導者を派遣するとともに、外部指導者に対する研修会を開催した。

6 旧穴吹クレ射撃場環境対策事業（県民スポーツ課）

6(1) 旧穴吹クレ射撃場環境対策事業

全国の多くの公営射撃場において、場内に残存する鉛弾により、射撃場から排出される水の環境への影響が問題になっていることを踏まえ、平成20年3月10日までを工期として、環境対策工事を施工した。

7 プロスポーツによるにぎわいの創出（にぎわいづくり課）

7(1) プロスポーツを活かしたにぎわいの創出

プロスポーツチームの集客力や情報発信力を活用し、本県のPRやスポーツ文化の振興等、本県のにぎわい創出につながる施策等を実施した。

7(2) ホームタウン連携事業

ホームタウン自治体が連携協力して、徳島ヴォルティスの地域貢献活動を支援するとともに、本県観光の振興や交流人口の増加を図った。

7(3) 新スポーツ拠点活用モデル事業

徳島ヴォルティスの本拠地である「徳島スポーツビレッジ」は四国最大規模のサッカー練習場として他県からのスポーツ大会参加や合宿利用が見込めるため、モデル事業として記念スポーツ大会を実施し、にぎわいの創出を図った。

8 第24回アジア男子バスケットボール選手権徳島大会開催補助（県民スポーツ課）

アスティとくしまなどにおいて、平成19年7月27日から8月5日まで開催されたバスケットボールの国際大会を支援し、トップレベルの技を観戦する機会を創出した。

観戦者 延べ約 20,000 人 ボランティア 延べ約 3,500 人